



---

# 企画発表1 アンケート

---

年次大会2022



2022年6月25日

日本繊維製品消費科学会

## 1. 副会長 才脇直樹氏の発表に対するご意見・ご感想

1. 電子情報分野と繊維分野の融合による研究の発展に関して夢のある研究を紹介いただき、興味深かったです。若かりし頃の丹羽先生のお姿、懐かしい気がしました。
2. 異分野との取組みをスマートテキスタイル関係の変遷で話されて分かりやすかったです。
3. 奈良女子大学で工学部ができたとのことで、女性ならではの視点から、これからの新しい技術開発と感性を生かした製品が開発されていきそうに思いました。
4. 異分野との連携について考えていきたいと思います。
5. マーケティングの必要性を感じました。何を作れば良いのか、何を作るべきなのか、モノづくりを総合的にコーディネートできる人材や研究分野必要であることを再確認できました。
6. スマートテキスタイルを中心にその歴史、将来についてご紹介いただき、大変勉強になりました。まだまだこの分野の開発、商品化は遅れており、大学、企業の共同研究、予算化が大いに必要であること、今後の3学会統合に期待されることが分かりました。有難うございました。
7. 声が小さく、聞きづらかった。2000年頃のアイデアが10年経って実現という話はなるほどと思いました。内容は以前聞いた事がある内容も多かったですが女子学生が考える繊維業界の人とは違うアイデアというのはもう少し内容を知りたかったです。
8. スマートテキスタイル、IoTの分野でのご研究に対しましていつも興味深くご講演を拝聴しています。非常に新しい分野としますのでご講義の機会を逃さないようにしたいです。
9. スマートテキスタイルの分野は研究開発途上ではありますが、研究課題に恵まれ、基礎研究から応用研究まで、全ての研究が新規研究となる言わば研究テーマの宝箱のような分野であると感じています。才脇先生のお話から、フロンティア精神を大いに刺激され、若手研究者へ向けられた期待に微力かもしれませんがお応えしていきたいと感じました。衣服を着用することが、最新の技術によって人々の生活をより豊かにするような付加価値を持つ行為となる、文化的意識の変遷についても興味深いところです。現在、ユニクロのヒートテックやエアリズムのように吸湿や透湿等、生理的な快適性を繊維テクノロジーで改善する衣服については、その快適さを人々が実感し、日本の気候に対応した衣服文化として十分に定着した状態であると言えます。しかし、機械的なテクノロジーを持つ衣服については、まだ身近な存在ではないということもありますが、潜在的な抵抗感があるのではと考えます。宇宙服のように、着用するシーンが特殊な環境でなら当たり前を受け入れられることを考えると、日常生活において衣服というもともと身体に近い環境で機械に頼るということに、生物として自然体でありたいという無意識的な意識と、自身の生存環境が自然体では生きられない状態に向かっていくという危機感が、そうさせるのかもしれませんが。本日の才脇先生のお話をきっかけに、今後、人類の衣生活がどのように変化していくのか、衣生活文化への意識の変遷についてもこの時代の当事者として注視していきたいと考えました。本日は貴重なお話を有り難うございました。
10. 奈良女子大学の活動・功績や、スマートテキスタイル分野の研究が歩んできた過程を聞くことができ、この分野が求められているものは何かを改めて考える機会となりました。学生の目線としては特に、若い世代のアイデアにも発展するために新たな価値があって、将来の可能性を持っているというお話は、お聞きしていて嬉しく、今後の活力になりました。

## 2. 副会長 保城秀樹氏の発表に対するご意見・ご感想

1. 頸部の冷却機能付きの空調服、とても興味深いと思いました。レムテックも是非進んでいけると良いですね。
2. 人口減、女性の社会進出、高齢者の再教育から、サーキュラーエコノミー関係まで幅広くお話を頂き、勉強になりました。
3. デジタル化が進み、これからどんどん進められる分野だと思いました。大学教育のカリキュラムなどもこれに合わせて変えていく必要もありそうですが、設備はかなりの投資が必要そうに思いました。
4. 繊維技術の多能性とその融合の必要性から3学会統合の必要性につながる話と感じました。これを繊維学会の方々にもお話いただく方が良いと思います。材料系の方々は、かなり疑心暗鬼になっておられるようですので。
5. 今後進む高齢化、少子化、更に環境問題等、課題が多くある中で、取り組むべき事柄、例えば女性進出、高齢者活用等がはっきりしました。今後の3学会統合により課題解決が進むことが期待されます。有難うございました。
6. 今後の繊維業界の課題は何となくわかりますが、どこまで進んでいるのかなど、もう少し具体的にお聞きしたかった。
7. AR、VR、SDGs、ウェアラブルテキスタイルの繊維業界への浸透についてのお話は非常に興味深く拝聴させていただきました。繊維業界でもITや電気の知識が必要なのに気づかせていただいたと感じました。
8. 少子化の時代に向けてアパレル業界の今後の可能性や、販売方法、消費方法に関する次世代のスタンダードが少しずつ定着し始めている現状について、理解を深めることができました。大量生産大量消費の時代が作り出したアパレル業界の構造の限界が今来ているように思いますが、大量生産大量消費によってアパレル業界が拡大し、ビジネスとして成り立ってきた事を考えると、作りすぎないシステムや、一つのを長く着る、何度も着るといような過去への回帰ともとれる方針変換が、アパレル業界の不振をより助長するようなことになるのではと危惧しています。現在は、バーチャル試着や、バーチャルサンプリングなどを活用し、注文生産の仕組みにより余剰在庫を作らない生産構造を作り、流行や個人の好みに左右されるアパレル特有の商品特性に応じた販売方法への過渡期に入っている事を実感しています。そんな中、衣服による自己表現の場がバーチャル空間に広がることで、現実世界での大量消費の場がバーチャル空間に移り、在庫を持たないファッション市場が誕生したのも興味深いことです。特に、保城先生のお話によるメタバース市場の大きさには大変驚くとともに、人々の自己表現欲求の市場規模はやはり縮小することはなく、今後現実世界で求めるアパレルとバーチャル空間で求めるアパレルの両方が、それぞれの存在価値を高めながら平行して存在していくような未来を予見しました。特に、ハイブランドが参入した事については、"服"が物として存在しなくてもブランドステイタスを維持し続ける事については、衣服文化的な視点からも非常に新しい感覚です。衣生活文化の中でのバーチャルファッションの在り方について今後探ってみたいと思います。保城先生のお話から、沢山の新しい視座を頂きました。大変貴重なお話を有り難うございました。

### 3. 今回の企画についてのご意見・ご感想

1. 大学側からと企業側の研究、バランスよくとても興味深く拝聴しました。
2. 非常に旬な話題提供で有難かったです。
3. 統合に向けて示唆となるような、講演だと思いました。ありがとうございました。
4. 教育分野におけるカリキュラムの見直しをさらに進めていきたいと思います。ありがとうございました。
5. 学会の方向性を共有することができてよい企画と思いました
6. 時代に合った内容で非常に良かったと思います。
7. 3学会の統合のメリットがよく分かりません。会費が高くなるだけのように思えてあまり賛成になれません。
8. 繊維業界における新しい方向性、先端では何に取り組んでいるかの情報をいただき良い規格だったと思います。
9. 今回の企画は、プログラムが公開されたときから大変楽しみにしておりました。繊維業界の将来について、改めて考える事ができる大変良い機会になりました。今回得られた事については、次世代を担う学生とも共有し、アパレルの今後の可能性や、新規的な取り組みをすることが十分にできる分野であることを伝え、卒業研究のテーマにもしてみたいと思います。大変有意義な企画を有り難うございました。